

19- 1. 民主的学校づくり

コロナ禍で一層「学校とは何か?」「学校とはどうあるべきか?」が問われています。そしてGIGAスクール構想、学校DXなど、学校のあり方そのものが変えられようとしています。本分科会では、子どもたちの願いや意見から出発した学級・学校づくりをどのように進めていくか、学校のあるべき姿と切り結びながら、みなさんと希望ある学級・学校・職場づくりについて議論ができればと考えます。みなさんの実践をぜひお寄せください。



24. 生活科・総合学習

私たちは、生活科を「自然・社会・ヒト」を学ぶ科学的認識の土台作りの教科として位置づけ、総合学習を、教科学習とも連動し、「いのち・くらし・地域・環境」等を豊かに学び合う場として大切にしてきました。しかし、昨今のコロナ禍で質や量、温度などを身体で感じる五感を通しての学びは困難を極めています。安心安全な環境の下で児童・生徒の発達段階に応じた価値ある学びをどのように保障していくのか、ご一緒に考えましょう。

25. 登校拒否・不登校

2020年度の小・中学校の不登校児童・生徒数は、19.6万人と過去最高を更新しました。コロナが蔓延する中、大阪府は「すくすくウォッチ」を強行するなど管理と競争の教育を一層強めています。これでは、一層不登校が増加することは避けられません。この分科会は、教職員や相談員と親たちがともに登校拒否・不登校について考える場です。お互いの悩みや経験・取り組みを交流し学び合ひましょう。

下記の分科会は今年度は開催しません。

9. 家庭科教育

14. 幼保小接続期の教育

15. 思春期・青年期の進路

20. 教育条件

22. 文化創造と教育

21. 環境・公害問題と教育

本分科会では、持続可能な社会建設への道筋を明らかにすることを研究目標のひとつにすえて、身近な環境問題、公害問題を市民グループの実践や教育実践・教材分析などで報告・交流してきました。

今年度も感染症や自然災害なども含めて、主権者として正しい科学的知見をもとに、真実を求め、未来へつながる社会を展望する教育について、レポート報告、フリートーク、ミニ講演等を行いたいと思います。

23. 教育課程・教科書

コロナ禍で休校措置が続く中、新学習指導要領の完全実施、GIGAスクール構想の前倒し、行事の中止・削減もすすんでいます。この間、子どもとどのように関わり実践してきたか、学年末に向かって実践をどう構築するか①学級②学年のとりくみ、③教科④行事や特活、⑤学校全体など、1つの小さな実践でも持ち寄りましょう。学習指導要領やデジタル教科書の問題点も考えましょう。

教育のつどい大阪

全体会

会場参加は要WEB予約
(9月12日まで)

公教育の危機

～子どものための教育を取り戻そう～

すずき だいゆう

鈴木 大裕さん

教育研究者・土佐町議会議員

2022
9/19

月曜祝日

池田市民文化会館アゼリア小ホール
& オンライン

アクセス 阪急宝塚線 石橋阪大前駅西出口より徒歩約8分

開会 13:30～ / 開場 13:00

2022 豊能フロック



全体会会場参加申し込み レポート提出はこちら



○全体会会場参加申し込み 9月12日(月)まで

○分科会レポート提出 9月2日(金)まで

大阪教職員組合のホームページからも
アクセスできます。

<http://www.daikyoso.net/>

レポート提出を
Eメールで行う場合

daikyoso@daikyoso.jp

メールの場合は、件名を「教研レポート提出届」とし、メール本文に、①発表を希望する分科会、②レポートタイトル、③市町村・学校名(または団体名)、④お名前、⑤住所、⑥電話番号、⑦報告にあたっての要望を必ず記載してください。

やむを得ずFAXにてレポート提出届を提出する場合も上記の内容を記載してください。

※レポート提出届を受信した旨の返信がない場合、エラーの可能性あります(返信は月～金で行います)。

■報告の際は、パワーポイントを使う場合も必ず紙媒体でレジュメを用意してください。レジュメなしでの報告は認めないものとします。

■パソコンを使用する場合は、報告者自身でご用意ください。

■分科会への参加については、レポーターと世話人・推進委員、共同研究者以外は、予約制とする予定です。詳細は9月中旬ごろ、大阪教職員組合のホームページに掲載します。

■新型コロナウイルスの感染状況によって、実施できない場合があります。大阪教職員組合のホームページにて告知しますので、事前にご確認ください。

教育のつどい大阪2022実行委員会

〒543-0021

大阪市天王寺区東高津町7-11 大阪府教育会館706 大阪教職員組合内

TEL:06-6768-2330 / FAX:06-6768-2239

E-Mail: daikyoso@daikyoso.jp

2022年7月11日発行

分科会

教科別分科会

11月12日(土) 教科別分科会

会場 | 豊中市立大池小学校 開会10:00～

アクセス 豊中市本町1-7-12 阪急豊中駅より徒歩5分

1. 国語教育

認識力と表現力を育てる国語教育をどのように進めていくかを交流したいと思います。中でも、文学を文学として読むことの意義をふまえて、教材研究のあり方や様々な指導方法等について話し合っていきたいと思います。説明文の指導についても交流しましょう。また、書くことの意味、読み合うことの意味をおさえ、子ども一人ひとりの課題や思いをどう受けとめ、どのように書く力を伸ばしていくのか、共に考えましょう。

2. 外国語教育

1. すべての子どもたちに外国語を学ぶ喜びと平和な未来を開く力を育てます。
2. 学習指導要領や教科書の批判・検討をし、よりよい教材とは何かを考えます。
3. 小学校英語のあり方と実践を交流します。
4. 生徒の実態・興味関心にあわせて、映画や歌などを活用します。また協同学習で生徒が自ら学ぶ授業を創造します。

3.社会科教育

科学と事実に基づき、地域の主人公としての子ども、主権者を育てる社会科教育をすすめます。発達段階をふまえた実践を研究・討議し、社会科の学力とは何かをあきらかにします。学習指導要領の問題点を明らかにし、平和と民主主義、人権尊重、科学的な認識を育てる授業の交流を深めます。若い先生に明日からの授業づくりの力になるようなわかる授業、楽しい授業、教材の交流をします。

4.算数・数学教育

授業をする者なら、誰もが「わかってできるたのしい授業がしたい」と思っています。しかし、現実には「朝の会から計算練習」「時間に追われながらの授業」と難しい条件が山積みです。

あらためて「子どもたちにどのような学習が必要なのか」を議論し、それを実現するための専門的力量を共有しましょう。知恵を出し合い、〈わかる・できる・たのしい授業〉を実現するために学びましょう。

5.理科教育

非系統的で画一的な学習指導要領、学力テスト至上主義などさまざまな問題が、子ども達を学ぶ楽しさや、自然を深く理解する喜びから遠ざけている。また、若い先生を中心に「自然科学を深く学び、授業に取り入れたい」「子ども達の発達課題について学びたい」といった声が強くなっている。

日々の授業実践やプラン、教材を交流することで「すべての子どもたちに豊かな自然認識を育てる」授業のありかたを考えよう。

6.美術教育

美術教育は子どもたちに生きる喜びを与え、豊かな人間性を育むために必要不可欠な教科です。参加者の授業実践や子どもたちの作品をもとに以下のことについて学び、考えましょう。

①子どもたちの実態や発達を考え、生活実感に根ざした表現、豊かな感性を育む指導。②発達保障の観点から手仕事を通し、主体的につくる喜びを味わうことができる指導。③作品鑑賞を通し、作品との対話の方法や美を感じる喜びを味わうことができる指導。



7.音楽教育

多種多様な文化、表現活動があふれているなか、子どもたちとつくりあげていく音楽活動はしっかりとした教材選択と教材分析のうえで、学習活動に織り込んでいけたらと思います。

この分科会では、日頃の子どもたちの様子を交流しながら、自分たちの実践を語り合い、音楽の楽しさを実際に体感しながら音楽の世界を深めて行けたらと考えています。

8.技術・職業教育

生徒のやる気を引き出す教材、生徒が保護者に見せたい教材を工夫しましょう。日々の教育実践での悩みや工夫を持ち寄り明日からの授業づくりの参考になるような実践、教材の工夫を交流します。

(研究課題)①情報教育について②道具の正しい使い方③生物育成を楽しむ方法④新学習指導要領に変わって⑤専門実習で理解を深めるための工夫⑥職業教育と地域・社会とのつながりについて⑦職業高校各校の現状、取組と実践の交流⑧今後の職業教育のあり方

10.体育・健康・食教育

子どもたちをとりまく環境は、自然環境の悪化、コロナ禍による教育情勢の変化、親の多忙化など生きづらい現状にあります。年々複雑になるアレルギー、食生活のあり方、自然災害による食糧問題が深刻化しています。

日々の実践を体育、保健、食育の分野から報告し参加者で交流を深めます。そして、子どもたちの安心安全な生活が保障され、自ら健全な心身を養うための知識を身につけられるような手立てを話し合いたいと思います。

11.生活指導・自主的活動

①日々の教育実践のなかで、学級・学年・学校の集団づくりを、どうすすめていくか。

②集団づくりの基礎として子どもたちの心をどう理解し、どのように信頼関係を築いていくか。

互いに苦労話、失敗例、成功例の経験进行交流し、解決の方向を探り、確信に結びつくような議論にしたいと思います。



問題別分科会

11月19日(土) 問題別分科会

会場|豊中市立大池小学校 開会10:00～

アクセス 豊中市本町1-7-12 阪急豊中駅より徒歩5分

12.発達・評価・学力問題

報告者のレポートをもとに、「学力づくり」「授業づくり」について学び、交流します。今、学校現場はコロナ禍を契機として、授業時間を確保すること、ICT機器を使うことが優先され、子どもたちに学力をつけることが軽視されがちになってきました。そのことにともなって、子どもたちの学力低下の実態が、見えにくくなっています。この分科会では、学力づくりの重要性を確認し、参加者のみなさんと考えたいと思います。

13.障害児教育

教育や福祉に冷たい政治により、障害児者をめぐる状況は深刻さを増しています。しかし、特別支援学校の設置基準を策定させるなど、運動の力による前進もあります。今こそ、これまでの「権利としての障害児教育」に確信を持ち、真のインクルーシブな社会や教育の実現を目指して、障害児学校・学級・通級・通常学級・放課後などで育つ障害のある子どもたちの事実を交流し、私たちの実践を深めましょう。

17-A.人権と教育

児童・生徒の基本的人権を守り育てる教育実践や教育運動を交流したいと思います。私たちがすすめる人権の教育は、教育の自由、研修の自由が保障されたうえで、子どもたちに確かな学力と生きる希望を育む認識を育てるものです。憲法と子どもの権利条約が生きる教育をすすめましょう。

各職場でおこなわれている多様な人権にかかわる教育実践を持ち寄り、交流しましょう。

17-B.ジェンダー平等の教育

子ども達や父母の願いや要求をもとに、進路・労働・家庭・性に関する課題を出し合い交流しましょう。

子どもも大人も人間らしく豊かに生き、成長できる社会をつくるために学びあいましょう。

18.平和と国際連帯の教育

核兵器禁止条約第1回締約国会議の関連行事に高校生平和大使が参加し訴えました。「世界の若者たちと交流でき、視野を広げられた」と述べました。ウクライナに心を痛み、小学生も中学生も行動しています。中学3年生の「平和についてのレポート」では、「高齢化が進んでいる中、私たちが」「世界に発信を続けて」「次の世代に受け継いで」行かなければならないとの意見が多く見られました。国連憲章、日本国憲法を子どもたちとともに学び、平和と国際連帯について交流しましょう。